

議会活動フォト



台湾・八田與一墓前祭に出席▲

「八田技師夫妻を慕い台湾と友好の会」の世話人として、毎年、台南市を訪問しています。

小松基地を視察▶

厳しい訓練を行っていました。偶然にも、説明をしてくれた隊員は高校の剣道部の後輩でした。



◀総理官邸や国会を訪問
総裁室なども見学。国会では安全保障の激しい議論がなされていました。

▼知事要望

石川県に金沢市の要望を伝えに。県と市が協力しなければ、素晴らしい街づくりはできません。



《喜多浩一プロフィール》

昭和 45 年 5 月 野町に生まれる

52 年 3 月 藤蔭幼稚園卒

58 年 3 月 森山町小学校卒
(金沢東警察署で少年剣道)

61 年 3 月 星稜中学校卒
(剣道部主将)

平成 元年 3 月 金沢泉丘高校卒
(剣道部主将)

9 年 3 月 早稲田大学卒

平成 9 年 4 月 今村証券株式会社入社

23 年 1 月 // 退社

23 年 4 月 金沢市議会議員選挙に初当選

27 年 4 月 金沢市議選挙で2期目の当選

野町校下青年会・野町弥生消防分団所属

金沢市泉本町に在住

資格 証券アナリスト・ファイナンシャルプランナー・宅地建物取引士・行政書士

家族 妻、長男(米泉ドジャース→石川中央ボーイズ)、次男

金沢市議会議員

喜多浩一通信

Vol.13 発行・喜多浩一



金沢市議会議員 2 期目を迎えて

いつも、ご支援をいただき、本当にありがとうございます。

平成27年4月の金沢市議会議員選挙において、2度目の議席をいただくことができました。政治経験もなく、4年前にサラリーマンから突然立候補させて頂いた自分がここまで来ることができたのは、市民の皆さまの温かい応援と叱咤激励があったからこそです。本当に感謝の気持ちで一杯です。このご恩とご期待に応えられますよう、一期目以上の研鑽を続けていく覚悟です。

念願だった北陸新幹線が開通し、日本全国から多くの方々を訪れるようになり、本当にまちの風景が一変しました。また、山野市長就任以来の公約であった金沢マラソンも盛大に開催されたことで、金沢の認知度も一段と上がりました。この賑わいを未来永劫持続させていくことこそが私ども金沢市議会議員に託された最大の使命であります。

これからも24時間365日が議員活動であると肝に銘じ、前を向いてひたすら走り続けますので、これまでと変わらぬご支援を賜りますよう切に願申し上げます。

最後になりましたが、この「喜多浩一通信」も今号で13回目の発行となりました。バックナンバーについては下記アドレスにてご覧いただけますので、アクセスしていただければ幸いです。

<http://www.kita-koichi.com/archive2/>

(喜多浩一)

平成27年市議会9月定例会での主な一般質問と答弁の要約

◎総合教育会議について

〈喜多浩一〉

大津市でのいじめ自殺事件を契機に、約60年ぶりに教育委員会制度が変更され、市長主宰の総合教育会議が設置されました。これまで政治的中立性の問題から教育行政にほとんど口を挟めなかった市長が、公式の場で発言の機会を得ることになりましたが、この会議の意義を市長はどうお考えか。

〈山野市長〉

市長と教育委員会が定期的に意見交換をすることは大切な事だと考えている。教育委員会は市長が議会の承認を得て指名した委員で構成されており、総合教育会議という公の場で意思疎通の機会ができたことは大変大きな意義がある。

◎学校現場における政治教育について

〈喜多浩一〉

学校現場においては、選挙制度などの知識に限定した教育が中心で、現実の政治に対する理解力や公正な判断力を養うための教育がほとんど行われていないと聞いているが、今後どのように対応していくのか。

〈山野市長〉

小中学校においては、ディベートやロールプレー、プレゼンテーションなどの言語活動を通じて、政治や選挙への関心を高めていくことが大事だと考えている。また、市立工業高校においては、社会参画意識を高めるため、国の補助教材などを積極的に活用し、教育活動の充実を図っていく。

◎老朽化した公共施設の建替え等について

〈喜多浩一〉

少子高齢化の一層の進展により、社会保障費の増加が予想されるなか、学校など老朽化した公共施設の建替えの経費をどうやって予算に盛り込んでいくのか。その際、PFIなど民間資金の活用を検討していくべきではないか。

〈山野市長〉

社会保障費と老朽化した公共インフラの再整備が今後大きな財政負担になることは間違いない。基金の活用や年度間調整、民間活力の導入に向けた研究などを行うとともに、今回作成する公共施設等総合管理計画に基づく、将来コストを中期財政計画に的確に盛り込むことにより、必要な経費の着実な予算化に努めていく。

公共施設管理計画
来年末までに策定
山野市長は、公共施設の総合管理計画について、来年末をめどに策定するとした。市は、行政経営課内に公共施設マネジメント推進室を設置し、庁内プロジェクトを発足させて施設の維持管理や改修の実態調査を

北國新聞
2015年
9月22日
付 朝刊

進めている。分析結果を基に、改修、更新などの将来コストを算定し、適正管理や財政負担の平準化に向けた計画を作る。喜多氏が質問した。
総合管理計画は国が全国の自治体に策定を求めている。国の指針では、施設の廃止検討が記されている。山野市長は「避けて通れない課題だが、公共施設の廃止はなかなか難しい。改修・更新時期の最適化を図り、将来的なコストを見極めながら、廃止の必要性を検討したい」と答弁した。

喜多浩一関連記事

建設工業新聞 2015年9月1日付

北國新聞
2015年
10月9日
付 朝刊

有限責任事業組合（LBP）古民家再生の会（赤坂政会長）は8月29、30日の2日間、金沢市長土庫の竹村家住宅で「古民家再生のすすめ」をテーマに、「内見会+まなびの家+すまじ塾40 特別セミナー」を開催し、市民や建築関係者らが参加した。

30日は1部に「竹村家再生ビフォー&アフター」として赤坂会長が再生工事の解説を行った。2部は古民家の活用方法についてのパ

町家が街なかの起爆剤 一軒一軒その価値を説く

30日は1部に「竹村家再生ビフォー&アフター」として赤坂会長が再生工事の解説を行った。2部は古民家の活用方法についてのパ

「町家の価値を説く」の弊害が起きてしまった」と指摘し、「今後は再生から新生も重要になる。アメリカナイズで失ってきたものの、街なかに住む魅力、クルマに乗らない生活が大切。町家を活性化の起爆剤にすべきで、京都では不動産業者が町家の価値を見出し出している」と述べた。

馬場先恵子金沢学院大教授は「金澤町家研究会が設立から10年が経過し、オーナー登録やユザー登録が行われている」と述べ、「欧米では移住者習慣があって、歴史的な建物を購入する際は修繕履歴もある。町家をうまく売買、流通するシステムができればいい」と指摘した。

会場から「町家に住んできたが今までは一度もいい家だとは思わなかった。50歳を過ぎてようやくその価値がわかるようになった。どう子孫に伝えていけばいいのか」との質問に対し、赤坂会長は「家の価値は見た目ではない。頑固親父になつてもいい、一軒一軒、その価値を説くことが大切」と述べ、会場を沸かせた。

旧野町小跡地の利用法 地元住民が市に要望書

昨年4月に旧弥生小と統合して泉小となった旧野町小の跡地利用について、地元住民でつくる検討委員会

利用方法が課題となっていて、市内では、空き校舎を公民館や生涯学習施設、福祉館などに転用した例がある。

要望書では、野町公民館や町会連合会などの使用を前提とし、市営の交流施設などの入居を求めている。体育館は地域の体育施設や災害時の避難場所として残すよう提案している。

市役所には野町町会連合会の杉岡利正会長ら5人が訪れ「野町の活性化に向け、多くの人に足を運んでもらえるようにしたい」と訴えた。喜多浩一市議が同行した。

野町町小の校舎は現在、泉小の仮校舎として利用されている。2017年4月に、旧弥生小跡地に整備される泉小・泉中の新校舎に児童が移るため、その後の



町家の価値などについて考えたパネルディスカッション